

関係各位

大阪府環境農林水産部農政室長

## 病虫害発生予察情報について (予報第6号(10月))

標記について、次のとおり発表します。

なお、当室では、「病虫害発生予察情報」を主に農業指導者向け、別途発出する「病虫害発生・防除情報メールサービス」を主に農業者向けとして発信しております。

### 《特に注意》

【バラ科果樹】

クビアカツヤカミキリ

【野菜類・花き類】

シロイチモジヨトウ

ハスモンヨトウ

アブラムシ類

### 《10月の予報概要》

#### A 水稻

程度 品目	少ない	やや少ない	平年並	<u>やや多い</u>	多い
水稻	ジャンボタニシ(発生に注意)				

#### B 果樹類

程度 品目	少ない	やや少ない	平年並	<u>やや多い</u>	多い
バラ科果樹	クビアカツヤカミキリ(発生に注意)				
みかん			黒点病	ミカンハダニ	
果樹類全般		果樹カメムシ類			

#### C 野菜類

程度 品目	少ない	やや少ない	平年並	<u>やや多い</u>	多い
なす			褐紋病		
			アザミウマ類		
きゅうり		ウリノメイガ		コナジラミ類	
	退緑黄化病(発生に注意)				
			ミナミキイロ アザミウマ		
	黄化えそ病(発生に注意)				

## D 野菜・花き類

程度 品目	少ない	やや少ない	平年並	やや多い	多い
野菜 花き類				シロイチモジヨトウ	
				ハスモンヨトウ	
				コナガ	
				オオタバコガ	
				アブラムシ類	

### 《(参考)10月の気象予報》

気温	低い (10%)	平年並 (20%)	高い (70%)
降水量	少ない (40%)	平年並 (30%)	多い (30%)
日照時間	少ない (20%)	平年並 (40%)	多い (40%)

(大阪管区气象台9月30日発表)

## A 水稲

病害虫名	発生量	予報の根拠・注意すべき事項
ジャンボタニシ (スクミリンゴ ガイ)	発生に注意	<b>[注意すべき事項]</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>刈り取り後、耕うんして貝をひき潰したり、地表で寒気にさらし凍死させて越冬貝を減らす。</li> <li>耕うん機などの土に貝が付着することがあるので、移動の際はしっかり土を落とす。</li> </ul>

## B 果樹

### 1 バラ科果樹

病害虫名	発生量	予報の根拠・注意すべき事項
クビアカツヤ カミキリ	発生に注意	<b>[注意すべき事項]</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼虫は樹体内を食害し、4月～10月頃にフラス（幼虫の糞・木くず・樹脂の混合物で中華麺～うどん状に固まる）を排出する。6～8月に成虫が羽化する。</li> <li>フラスの発生を見逃さないようにほ場をよく見回る。</li> <li>フラスが見られたら、千枚通しや針金等でフラスをかき出してから薬剤を注入する。</li> </ul>

### 2 みかん

病害虫名	発生量	予報の根拠・注意すべき事項
黒点病	並	<b>[予報の根拠]</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>巡回調査では、発生は平年並であった。</li> <li>10月の降水量は平年よりやや少ないと予想されている。</li> </ul> <b>[注意すべき事項]</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>枯れ枝を見つけ次第除去する。</li> </ul>
ミカンハダニ	やや多い	<b>[予報の根拠]</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>巡回調査では、発生は平年並であった。</li> <li>10月の気温は平年より高いと予想されている。</li> </ul>

### 3 果樹類全般

病害虫名	発生量	予報の根拠・注意すべき事項
果樹カメムシ類	やや少ない～並	<p><b>[予報の根拠]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フェロモントラップ調査における誘殺虫数は平年より少なかった。</li> <li>予察灯への飛来頭数は平年並であった。</li> <li>10月の気温は平年より高いと予想されている。</li> </ul> <p><b>[注意すべき事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>園地により飛来量は大きく異なる可能性があるため、園内を見回り発生及び被害状況を確認する。発生が見られる場合は速やかに薬剤防除を実施する。</li> </ul>

### C 野菜類

#### 1 なす

病害虫名	発生量	予報の根拠・防除上注意すべき事項
褐紋病	並～やや多い	<p><b>[予報の根拠]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巡回調査では、発生は平年よりやや多かった。</li> <li>10月の降水量は平年よりやや少ないと予想されている。</li> </ul> <p><b>[注意すべき事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>葉や茎に褐色の病斑ができる。果実では褐色で円形の斑点ができ、進展すると腐敗する。さらに病状が進むと柄子殻という小さな黒点を形成する。</li> <li>特に露地の水なすで発生しやすい。</li> <li>盛夏過ぎから被害が増える傾向にある。</li> <li>病原菌は被害植物とともに土壌中に残り、次作の伝染源となる。</li> </ul>
アザミウマ類	並	<p><b>[予報の根拠]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巡回調査では、発生は平年より少なかった。</li> <li>10月の気温は、平年より高いと予想されている。</li> </ul> <p><b>[注意すべき事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>苗からの持ち込みによる発生がみられることがある。</li> <li>薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布する。</li> <li>雑草はアザミウマ類の生息場所となるため、ほ場内および周辺の除草を徹底する。</li> <li>栽培終了後に施設内の除草を行い、施設を密閉して蒸し込んで虫を餓死させる。</li> </ul>

#### 2 きゅうり

病害虫名	発生量	予報の根拠・防除上注意すべき事項
ウリノメイガ	やや少ない	<p><b>[予報の根拠]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巡回調査では、発生は平年よりやや少なかった。</li> </ul> <p><b>[注意すべき事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設抑制栽培の生育初期に発生が多く認められる。</li> <li>ハウスの開口部を寒冷紗（2mm目合）等で被覆し、成虫の侵入を防止する。</li> </ul>

コナジラミ類	やや多い	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回調査では、発生は平年よりやや多かった。</li> </ul> <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・葉の汁を吸ってネバネバした液を排泄し、その上にすす病に発生するため、葉や果実が黒く汚れる。</li> <li>・タバココナジラミは、キュウリ退緑黄化病などのウイルスを媒介する。</li> <li>・ハウスの開口部を防虫ネット（0.4mm目合いのネットなど）で被覆し、成虫の侵入を防止する。</li> </ul>
退緑黄化病	発生に注意	<p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キュウリ退緑黄化病は、ウリ類退緑黄化ウイルス（CCYV）によるウイルス病であり、キュウリ、メロン、スイカなどに感染する。</li> <li>・CCYVに感染すると、葉に退緑小斑点を生じ、次第に小斑点が増加・癒合しながら徐々に黄化する。</li> <li>・CCYVは、タバココナジラミによって媒介されるため、タバココナジラミの防除の徹底が重要である。</li> </ul>
ミナミキイロアザミウマ	並	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回調査では、発生は平年よりやや少なかった。</li> <li>・10月の気温は、平年より高いと予想されている。</li> </ul> <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発生初期は、葉の葉脈沿いにカスリ状の白い斑点を生じる。</li> <li>・ミナミキイロアザミウマは、キュウリ黄化えそ病などのウイルスを媒介する。</li> <li>・ハウスの開口部を0.8mm目合いの赤色ネットで被覆し、成虫の侵入を防止する。</li> </ul>
黄化えそ病	発生に注意	<p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キュウリ黄化えそ病は、メロン黄化えそウイルス（MSV）によるウイルス病であり、キュウリ、メロン、スイカ、シロウリ、ニガウリに感染する。</li> <li>・MSVに感染すると、葉にえそ斑点を伴うモザイク症状や黄化などの症状を示す。</li> <li>・MSVは、ミナミキイロアザミウマによって媒介されるため、ミナミキイロアザミウマの防除の徹底が重要である。</li> </ul>

#### D 野菜類・花き類全般

病害虫名	発生量	予報の根拠・防除上注意すべき事項
シロイチモジヨトウ	やや多い	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェロモントラップ調査における誘殺虫数は、平年よりやや多かった。</li> <li>・10月の気温は平年より高いと予想されている。</li> </ul> <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発生初期（若齢幼虫期）に防除を徹底する。卵塊や集団でいる幼虫の除去に努める。</li> <li>・同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。特にジアミド系薬剤の連用を避ける。</li> </ul>

ハスモンヨトウ	やや多い	<p><b>[予報の根拠]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェロモントラップ調査における誘殺虫数は、平年よりやや多かった。</li> <li>・10月の気温は平年より高いと予想されている。</li> </ul> <p><b>[注意すべき事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発生初期（若齢幼虫期）に防除を徹底する。卵塊や集団でいる幼虫の除去に努める。</li> <li>・同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。</li> </ul>
コナガ	やや多い	<p><b>[予報の根拠]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェロモントラップ調査における誘殺虫数は、平年よりやや多かった。</li> <li>・10月の気温は平年より高いと予想されている。</li> </ul> <p><b>[注意すべき事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発生初期に防除を行う。</li> <li>・同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。特にジアミド系薬剤の連用は避ける。</li> </ul>
オオタバコガ	やや多い	<p><b>[予報の根拠]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェロモントラップ調査における誘殺虫数は、平年よりやや多かった。</li> <li>・10月の気温は平年より高いと予想されている。</li> </ul> <p><b>[注意すべき事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発生初期（若齢幼虫期・食入前）に防除を徹底する。</li> <li>・同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。</li> </ul>
アブラムシ類	やや多い～多い	<p><b>[予報の根拠]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回調査では、発生は平年よりやや多かった。</li> <li>・黄色水盤への誘殺虫数は、平年より多かった。</li> <li>・10月の気温は平年より高いと予想されている。</li> </ul> <p><b>[注意すべき事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作物を吸汁し、生育を阻害する。また排泄物にカビが発生し、すす病の原因となる。さらに、各種のウイルスを媒介し、作物によっては致命的な被害をもたらす。</li> <li>・薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統の薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。</li> </ul>

●大阪府環境農林水産部農政室推進課病害虫防除グループ・ホームページ

（平成23年4月1日より大阪府病害虫防除所から組織名変更）

<http://www.jppn.ne.jp/osaka/>（9月29日付けで、病害虫防除指針内容を更新しました。）

●病害虫発生情報メールサービス

申込先 大阪府環境農林水産部農政室推進課病害虫防除グループ・メールサービス担当

TEL 072-957-0520

<http://www.jppn.ne.jp/osaka/mailservice/mailserVICEmousi.komi.html>

<情報料無料、受信に要する通信費は自己負担です>

年間約15件の病害虫情報を電子メールで送付します。

●おおさかアグリメール

申込先 大阪府立環境農林水産総合研究所

企画部 企画グループ おおさかアグリメール受付担当

TEL 072-979-7070

<http://www.kannousui-ken-osaka.or.jp/nourin/agrimail/>

最新の農業情報をあなたの携帯電話にお届けします。

<情報料無料、受信に要する通信費は自己負担です>

●Web版大阪府園芸植物病虫害図鑑

「ひと目でわかる花と野菜の病虫害」

<http://osaka-ppa.jp/zukan/index.php>

(大阪府植物防疫協会)